

水稻除草剤

先陣[®] 1キロ粒剤

ジメタメトリン……………0.3%
ピラクロニル……………1.5%

種類名／ジメタメトリン・ピラクロニル粒剤
農林水産省登録／第24803号
毒性／普通物*
有効年限／5年
包装／1kg×12

特 長

- 藻類や表層はく離に高い効果を示す水稻用初期除草剤です。
- 幅広い草種に対して効果を示します。
- 効果の発現が非常に速い特性があります。

適用雑草と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り 使用量	総使用回数*	使用方法
移植 水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ウリカワ ヒルムシロ オモダカ コウキヤガラ アオミドロ・藻類 による表層はく離	移植時	1kg	本剤 ジメタメトリン剤 1回 ピラクロニル剤 2回	田植同時 散布機で施用
		植代後～ 移植7日前 又は 移植直後～ ノビエ1葉期 但し、 移植後30日まで			湛水散布 又は 無人航空機散布

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの1葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にブレが出るので、必ず適期に使用するようご注意ください。ホタルイ、ウリカワ、ヒルムシロ、コウキヤガラは発生始期まで、ヘラオモダカ、オモダカは発生前、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生始期までが本剤の散布適期です。また、一年生雑草のミズアオイは発生始期までが本剤の散布適期です。オモダカ、コウキヤガラは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 使用に当っては、水の出入りを止め湛水状態（水深3～5cm）で均一に散布してください。本剤使用后、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業および植え付けはていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 除草効果が低下するおそれがあるので、著しい降雨が予想される場合には使用を控えてください。
- 本剤を無人航空機で散布する場合は「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機（無人ヘリコプター等）散布・滴下に関する注意」をご参照ください。
- 空袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■薬 害

- 軟弱な苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田および砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では、葉害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- いぐさ栽培予定の水田では使用しないでください。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

■貯蔵上の注意

- 密封し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2025年8月18日現在の登録内容に基づいています。